

永年の皆様よりのご支援と 会員の研鑽により 2020年9月30日に 認定個人情報保護団体に認定されました。

認定個人情報保護団体とは、業界・事業分野ごとの民間による個人情報の保護の推進を図るために、
自主的な取組を行うことを目的として、個人情報保護委員会の認定を受けた法人や団体のことです。

工業会 日本万引防止システム協会

～防犯民主主義実現に向けて～

EAS機器と防犯カメラとロスプリベンション推進のための工業会

正会員

(正会員数 33社)

アイアンドティテック(株)	グローリー(株)	高千穂交易(株)
IDECファクトリーソリューションズ(株)	(株)ゴジョウ・ウェイズ	タカヤ(株)
アクシスコミュニケーションズ(株)	(株)KSM	チェスコムアドバンス(株)
アドセック(株)	KDDI(株)	チェックポイントジャパン(株)
(株)エイジス	サクサ(株)	(株)店舗ブランニング
NECソリューションイノベータ(株)	(株)セキュリティデザイン	日本電気(株)
(株)SGI	CIA(株)	パナソニックシステムソリューションズジャパン(株)
エム・ケー・パビック(株)	(株)GeoVision	ビブリオテカ・ジャパン(株)
(株)オカムラ	シグマ(株)	マイティキューブ(株)
(株)キャトルプラン	セコム(株)	Matsuo Sangyo(株)
(株)杏林社	セフトHD(株)	(株)三宅

賛助会員

沖電気工業(株)	(株)日本保安
(株)自己啓発協会	(株)ロケット
西武産業(株)	(株)JSS

特別会員

公益社団法人 日本防犯設備協会
一般社団法人 日本自動認識システム協会
一般社団法人 全国警備業協会
NPO法人 全国万引犯罪防止機構
関西万引対策連合会
タグ&バック事務局

(2020年9月18日現在)

JEAS委員会組織

カメラ画像安全利用推進委員会 委員長・副会長 三宅 正光



推奨顔認証システム
ステッカー

小売業や物流現場のカメラ画像の効果的な
利用状況やセキュリティ対策を調べ、システム
提供者側の販売指針を発表することで、カメ
ラ画像の適切な利用促進に向けての環境整
備を行う。平成28年度に「防犯カメラや画像
認識システムの安全利用のお勧め」を制作。

本年度は推奨顔認証システム制度をスタートさせた。

技術基準委員会 委員長・事務局長 田丸 典億



EASステッカー

平成20年10月、EASと医療機器との干渉試験
を実施することになり、その方法等の内容を検
討し実施するために、技術基準委員会が設置
された。

- ① 対ベースメーカー等との干渉実験
- ② 電磁界測定 ③ 電気用品安全法対応
- ④ 各種の基準作り

政策・研究委員会 委員長・理事 摺田 祐司



JEASとして、取り上げるべき問題・課題の
検討を行い、その結果を委員会の責任にお
いて、行政機関・関連団体・報道機関等に
対し建議および提言・アピールを行う。

調査研究事業として、わが国における万引防止システムの普
及推進のための必要な調査研究及び会員の基礎教育を行う。

総務委員会 委員長・副会長 近江 元



工業会全般のスタッフ業務と工業会を司る。
事務局と密接な関係を保ちながら主として
次の業務を行う。会計、広報、渉外、規約の
起案と見直し、他の委員会に所属しない業
務を専門的に行う。国内情報・海外情報を広く収集し、必要に
応じてそれらを取りまとめ、国の内外へ広報する。「15分間勉
強会」や「業界で活躍する女性」が好評につきシリーズ化した。

理事会・運営委員会 会長・個人情報管理室長 稲本 義範 (総合防犯設備士、公認不正検査士、万引き防止責任者養成講座担当講師)

連絡先

工業会 日本万引防止システム協会 事務局 TEL : 03-3355-2322 FAX : 03-3355-2344
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-1 7F <https://www.jeas.gr.jp> E-mail : infonew@jeas.gr.jp



Home page

Facebook

June 3, 2002 : Establishment of the Japan Association of Electronic Article Surveillance Machines.

June 13, 2011 : The organization's Japanese name was changed. (The English name remained the same.)

Feb 1, 2018 : JEAS became an industry association for electronic product monitoring equipment and security cameras.

EAS機器と防犯カメラとロスプリベンション推進のための工業会として 本日、JEASは認定個人情報保護団体に申請

私たちは「EAS機器が安全でロス削減に役に立つシステムである。」ことを店舗の皆様や地域の皆様にご理解いただく活動からスタートしました。EASの検知力はかなり向上しましたが、それでも100%ではありません。アラーム発報時の声掛けは勇気のいることですし、商品へのタグ付けは忍耐と工夫が必要です。さらにはペースメーカーなどの医療機器装着者様の安全を確保するため、昨年も多くのEAS機器が専門機関で試験を受け、JEASより認定証を発行しています。そのようなユーザー様と我々の努力の結晶がこのEASステッカーを誕生させたと思っています。



同じく、顔認証システムも認識率100%の性能ではありません。各社の開発陣の奮闘で性能面が格段に進化し、マスク装着者の検知率も驚くほどに向上していますが、それでも100%ではありません。顔画像などの登録については、従来と比較し、より簡易になりましたが、すべて自動化されたわけではありません。さらには、顔画像という紛れもない個人情報を取り扱うため、その安全性を高めるために、JEASでは本年度、推奨顔認証システム制度を開始しました。



本年6月の推奨認定試験には私も参加しましたが、指摘事項がゼロだったシステムはありませんでした。その事実を鑑み、私は設計段階で想定される問題点への対処ができれば、より高い安全や個人情報保護が実現できるのではないかと考えに至りました。

そのためには個人情報保護委員会や経済産業省などのご指導をいただき認定個人情報保護団体になり、PIAプライバシー影響評価的要素を認証制度に組み込んでいくことが必要だと考えます。そのことがSDGsの11番目の目標である「安全な暮らし実現」と16番目の「平和で公平な社会の実現」につながると思います。それを意味するこの胸の国連・京都コンGRESS（第14回国連犯罪防止刑事司法会議）バッジに恥じない様な推奨顔認証システム制度に育てる責務を感じています。



今後も100%ではないEAS機器・顔認証等の画像システムの安全性を担保しながら、皆様から「(お店や図書館には) 無くてはならない EAS、地域の人々の安全安心 顔認証」と言っていただけるためにも、15分間勉強会、JEAS講習会、各種セミナー、対話と調査研究を継続していきます。

今まで以上に、店舗の皆様から、地域社会から頼りにされる工業会・工業会メンバーであることを願っております。引き続き、理事、会員各位、特別会員の先輩諸氏と共に歩んでまいります。皆さま、ご指導・ご協力をお願いします。